

主催：平福地域づくり協議会 協賛：平福文化と観光の会・智頭急行株式会社

最優秀賞



「大晦日のライトアップ」大嶋啓靖さん(佐用町)



第5回ひらふくフォトコンテスト表彰式は、2月27日(日)に、コロナ対策のため初めてオンライン形式で開催されました。応募59作品から選ばれた入賞者13名のうち8名がオンラインで参加し、審査委員長 坂本忠俊先生(兵庫県写真作家協会会員・姫路市美術協会運営委員)の質問に入賞者が画面越しに答えるなど、これまでの表彰式とは違った和やかな雰囲気で行われました。我々スタッフも初めての試みに戸惑う場面もありましたが、大きなトラブルもなく無事に式典を終えることができました。

Ⓛ (坂本先生の講評)小雪の舞う中、除夜の鐘の準備で薪を抱えて山門へ向かう役員さんだと思います。その情景を上手に捉えられた作品です。

優秀賞



「アサギマダラの宿場」久保正彦さん(佐用町)

Ⓛ 今街を挙げて取り組んでおられる、話題の蝶アサギマダラの作品ですね。食草フジバカマに群がるアサギマダラ。背景に土壁の街並みを取り入れた素晴らしい情景ですね。



「雪をまとひて」山上淑美さん(佐用町)

Ⓛ 雪の川屋敷を上手く捉えられたと思います。特に川岸の雪を被った雑草と川の流れや街並が溶け合った作品ですね!構図もよいですね。斜め構図で川に流されそうです。

特別賞



「厳冬の朝平福」岡本敏和さん(佐用町)

Ⓛ 凍りついた川面に薄雪そして波紋の輪っか!!朝日に輝く街並みを超広角で捉えたミステリーなこの風景、素晴らしい作品です。



「利神山と満月」中井二三さん(佐用町)

Ⓛ 利神城と満月、何か物語を想像させてくれる様な作品です。良く研究、努力され撮影されたと思います。

第15回新春歩こう会

1月9日(日)に、第15回新春歩こう会が開催されました。平福体育館を出発し、宿場町平福遊歩道から町並みを通る2.3kmのコースを45分ほどかけて歩きました。今回、新型コロナウイルス感染症予

防のため、毎年恒例の郷土を考える会による炊き出し、参加者全員でのお楽しみビンゴ大会がなくて残念でしたが、当日、80人の地域の方々に参加していただきました。新年のあいさつをされる方、久しぶりに会われて近況を語り合われる方、小さなお子さんと一緒にご

家族で参加される方など、楽しい雰囲気の中、ゆったりとしたひと時が流れました。今後、コロナ禍の不安な状況が一日も早く終息し、安心できる日常を取り戻し、来年はさらに多くの笑顔があふれる『新春歩こう会』が開催できるようお願いいたします。



川屋敷が夕陽に染まり輝いています。色彩、構図共にいいですね。



風鈴祭りで有名になった光明寺の作品です。本堂の大胆な三角屋根と新緑のすばらしい切り取りが良いと思います。



満開の桜、前景の菜の花、その奥に主役の六地藏、特に地藏の赤い帽子前だれが主役を引き立てています。



満開の桜とモデルさんでしょうか？石段と奥に鳥居。構図がいいですね。

入賞

「宿場町夕景」藤原裕司さん(神戸市)

「タイムトンネルを往くまちなみ」時政典孝さん(たつの市)

「涼しげな風鈴祭り」仙石一夫さん(明石市)

「土蔵群と銀河」福田敏和さん(たつの市)

「金倉六地藏」浜田修身さん(姫路市)

冬のライトアップ

12月18日(土)夕方5時から、佐用川沿いの土蔵群と石垣が美しくライトアップされました。天神橋付近から南(約100メートル)の間で24個のライトを使って川屋敷が照らし出されました。川面には、

訪れる人は少なめでしたが、近所の住民の方やカメラマンの方が静かにシャッターを切っていました。



川屋敷の土蔵群と満天の星空。長時間撮影と明合成で見事に表現された力強い素晴らしい作品です。



川屋敷と天空、川面に映える屋敷が旅愁を感じさせます。空と川面の非常に難しい構図ですが、上手に露出を合わせられています。



「水面に浮かぶ」井関一文さん(佐用町)

ライトアップの作品ですね。川面の土蔵作りが力強く感じます。



「雲湧き桜咲く」山口康博さん(加古川市)

春爛漫、利神山一面に咲く山桜を見事に捉えられた作品ですね。